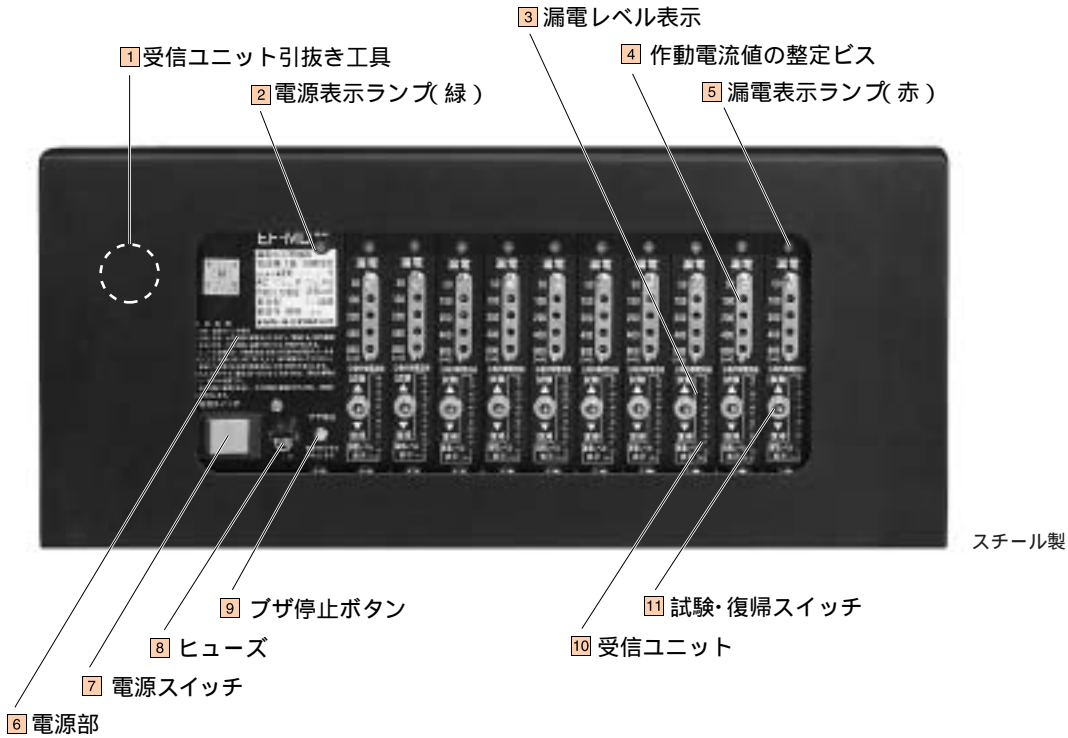


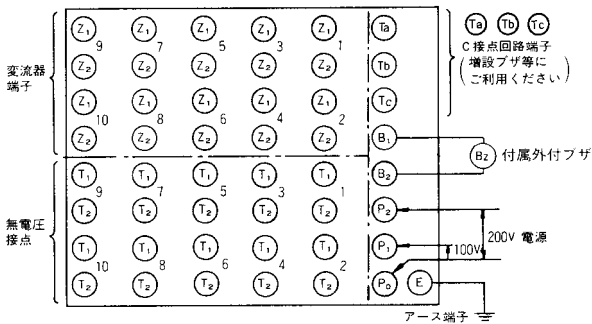
# EF-MDA

集合型10回路 / 埋込形 / 国家検定合格品

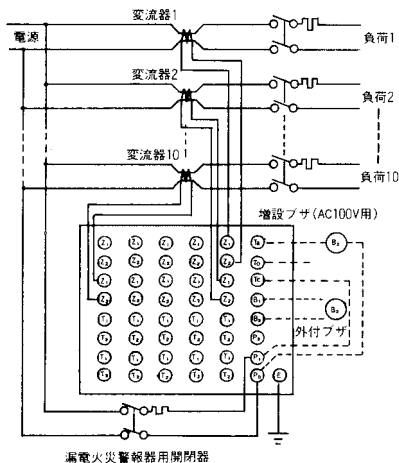


## 端子配列

注意 電源は200Vの時P<sub>0</sub>-P<sub>2</sub>、100Vの時P<sub>0</sub>-P<sub>1</sub>に接続してください。  
 Z<sub>1</sub>-Z<sub>2</sub>(1~10)は変流器端子ですので電圧をかけないでください。  
 T<sub>1</sub>-T<sub>2</sub>(1~10)は各回路ごとのa接点端子です。  
 T<sub>a</sub>-T<sub>b</sub>-T<sub>c</sub>は共通のC接点回路端子で増設ブザー等にご利用ください。



## 接続例



## 各部の説明

- 1 受信ユニット引抜き工具：受信ユニットはプラグイン式です。この引抜き工具で引出してください。
- 2 電源表示ランプ(緑)：受信機の電源が入っていることを示します。点灯しない場合はヒューズ、電源スイッチ、専用開閉器を確認してください。
- 3 漏電レベル表示：現在の漏電状態を設定作動電流値に対する割合で順次点灯します。
- 4 作動電流値の整定ビス：設定する電流値のネジ穴に確実に整定ビスをネジ込んでください。整定ビスがゆるんだ状態では50mA感度となります。設定する場合は、電源スイッチを切にしてください。
- 5 漏電表示ランプ(赤)：漏電が発生するとランプが点灯し自己保持します。
- 6 電源部
- 7 電源スイッチ：受信機の制御電源を入切できます。ヒューズ取替時、作動電流値の変更時に切にして作業してください。常時は入にしておいてください。
- 8 ヒューズ：ガラス管ヒューズMF5 1(φ5) 1.5Aを使用してください。
- 9 ブザ停止ボタン：警報中に押すとブザのみ停止します。各ユニットの警報が復帰すれば、ブザ停止も自動復帰するので、次に漏電が生じたときもブザは鳴ります。
- 10 受信ユニット：プラグイン構造なのでメンテナンスが容易にできます。表示はすべて発光ダイオード(LED)使用。
- 11 試験・復帰スイッチ  
 試験(上方向)：本体の動作確認及び変流器の導通試験ができます。(変流器の接続が必要です。)  
 復帰(下方向)：漏電がなければ警報が復帰します。

情報機器 警報器 検知器 計測器 産業機器